

○高機能化支援事業を利用した施設職員の声の例

(1) 高機能化支援員との意見交換を通じて、子どもへの支援方針や支援計画が確認でき、安心感をもって、子どもに向き合えるようになった。

(2) 高機能化支援員から、児童養護施設の実態を踏まえて上での、子どもの理解についての助言、支援方法の提案、ケースワークを一緒に考えてもらえてもらうことで視野が広がり、現場職員の積極的な創意工夫につながった。



(3) 児童養護施設職員が子どもへ性教育を実施する際、高機能支援員から具体的な避妊・性感染症予防の方法等の助言を受けたことで、施設内で包括的性教育の必要性の意識が高まった。

(4) 児童福祉の施設職員として、子どもに必要な障害福祉サービスを利用するようになった時、どのようなサービスがあり、どのようにすることで利用することができるのかの助言を受け、子どもにとって適切なサービス利用につなげることができた。

(5) 子どもへの支援に施設職員が苦慮していた点について、高機能化支援員からの子どもとの関わり方の助言を受けたことで、子どもの内面の理解が深まり、子どもとの関係性が改善された。

